

総合計画一部追加修正（案）に関する意見募集の結果について

総合計画一部追加修正（案）に関して意見の募集を行い、下記のとおりご意見をいただきました。総合計画審議会にて審議した結果、いただいたご意見については今後のまちづくりの参考意見とさせていただきます、総合計画一部追加修正（案）は「変更なし」といたします。

【基本構想】 (1) 社会環境の変化とコンパクトシティのあり方について

【主な意見・論点】

(1) コンパクトシティと都市的居住圏の範囲について

- 都市的居住圏が大きすぎ、コンパクトシティと呼ぶには、あまりにも範囲が広すぎる。
- 国が推進しているコンパクトシティ構想と異なっているのではないか。

(2) 中心市街地の活性化と郊外開発との共存について

- 車でなければいけない場所に大型商業施設を誘致するより、交通の便の良い中心核・沼津駅周辺の活用方法を検討してほしい。
- 郊外開発と中心市街地の活性化は決して両立しない。
- 土地利用の緩和により郊外への民間投資が行われた場合、中心核の衰退に歯止めが利かなくなる。中心核に民間投資が行われるような具体的なコンセプトを明確にする必要がある。
- 中心市街地の衰退の原因は、車で買い物するにも駐車場が遠いことが第一の原因だと思う。最近では各市町に店舗が増えて沼津で買わなくても済んでいる。駅周辺は無理をせず、それなりにまちづくりを進めて行けば良い。

(3) 市街地再開発事業について

- 沼津市は急速な高齢化と中心市街地の空洞化対策が喫緊の課題であり、特に沼津駅南街区においては建物の老朽化が甚だしく災害に強いまちを形成していない。
- 中心市街地の再生はもはや商業では成り立たない実情があり、ゆるやかなエリアマネジメントを行いそこに投資をし、税収を回り雇用を生み、居住人口を増やすべき。

(4) 都市的居住圏内や中心核と地域核との交通連携について

- 大型商業施設の出店は雇用が増え大変良いことであるが、公共交通機関の連携強化を図るという考えは疑問だ。おそらくバスのことだと思うが、車を止めてバスで往来するとは考えられない。

【意見に対する考え方】

(1) コンパクトシティと都市的居住圏の範囲について

素案で示すコンパクトシティのあり方は、地域の特性を踏まえつつ、拠点となる中心核や地域核に機能集積を図り、その地域間の交通連携を強化して有機的に結びつけ、効率的かつ魅力ある都市空間の創出を図っていくという市全体のまちづくりの考え方でありますので、コンパクトシティの範囲を特定するものではありません。

これまでのコンパクトなまちづくりの考え方と変わりなく、本市が目指すコンパクトシティをより明確にし、その実現を目指していきます。

都市的居住圏内には、現在、市内人口の約6割が集中し、一定の生活基盤が既に整っている状況にあります。今後、人口減少の進展や社会環境が変化する中においても、都市的居住圏にあっては、住む人、働く人が引き続き暮らしやすく、都市的サービスを楽しむことができるように、便利で魅力ある都市空間を確保していくために設定したものであり、沼津駅を中心に概ね3km程度の範囲を想定しています。

(2) 中心市街地の活性化と郊外開発の共存について

中心市街地の活性化と北西部地区の産業集積については、必ずしも相対するものではないとの考えに基づき、中心核や地域核のそれぞれが役割を担い、連携・協力を図りつつ、互いに魅力を高め合いながら、活力あるまちづくりを進めていきます。

沼津駅を中心とする中心核は、本市の社会・経済活動の中心であり、今後も県東部地域を牽引する役割を担うべき地区でありますので、商業、教育、文化、福祉など拠点都市にふさわしい高次都市機能の集積を図るとともに、特色と魅力ある個店の集積を図り、人が集まりにぎわいのある商店街づくりを進めます。

中心市街地の活性化に向けては、今年度、今後の中心市街地のまちづくりの指針となる中心市街地再生計画の策定を進めているところであり、総合計画の一部追加修正を踏まえ、年度内の策定を進めていきます。

(3) 市街地再開発事業について

老朽商業施設は、既存の機能を有効活用しつつ、市街地再開発事業や優良建築物等整備事業などにより建物を更新しながら、都心居住とそれを支える機能等への再構築を図ります。

(4) 都市的居住圏内や中心核と地域核との交通連携について

都市的居住圏内や中心核と地域核の移動等の回遊性については、人の流れを呼び込み、魅力あるまちづくりを推進する上で重要な課題であるため、公共交通の強化のみならず、道路整備を図り、それらをバランスよく進めることにより、交流人口の拡大と市民や来訪者の回遊性の向上を図ります。

【基本計画】 (2) 交通環境の変化に伴う柔軟な土地利用について

【主な意見・論点】

(5) 市街化調整区域の活用について

- 市街化調整区域の活用については企業誘致（工場等）など人口増加につながる活用方法を検討いただきたい。より多くの人々が働く工場誘致を優先してほしい。

【意見に対する考え方】

交通環境が向上して新たな土地利用が見込まれる地域については、「都市のかたち」と整合を図りつつ、事業者や地権者のニーズを捉え、連携を図りながら、地域産業の活性化が図られるよう企業立地しやすい環境整備を進めていきます。

その他市政に対する意見

- 人口減少の要因は沼津が住みにくいからではないか。住みやすいまちとはどのようなまちなのか。老人対策も必要だが、将来を担う子供たちのために何ができるか検討してほしい。
- 鉄道高架の完成まで待てない。歩行者・自転車が安全に通行できるように、将来も利用できる南北自由通路を建設してほしい。
- 市民体育館の建替えは香陵グラウンドではなく現在の場所に建替えてほしい。
- 沼津市は地理的にも気候的にも住みやすく豊かな自然に恵まれた日本有数の地域であるので、この環境を周知して多くの人が沼津に住むような都市の実現を目指してほしい。
- 旧西武の地下道は高齢者に負担があるので、スクランブル交差点やエスカレータ等の何らかの改善が必要ではないか。
- さんさん通りから港湾まで、戦略的に散策できる様な雰囲気を作ってほしい。